

- 1 街角木ポイント設置事業

消費者が求める県産材を活用した木製品の利用拡大を図りました。

(1) 街角木ポイント設置事業

- ・ 県民のアイデア提案事業により、デザインや製造技術などに優れた木製品を、公共施設等に設置した。

提案者	木製品内容	設置場所
企業組合イヌワシ	木製積み木	由布市、大分市内の幼稚園、保育園
きやどんクラブ	森林林業PRジオラマ付きテーブルセット	日田市役所ロビー
清川ふるさと物産館	テーブル、椅子、掲示板	道の駅きよかわ
大野町農林業振興公社	テーブル、ベンチ、展示棚	大野町物産館
道の駅みえ	フラワーボックス、スツール型車止め	道の駅みえ
さくらの会	木製ベンチ、テーブル、遊具	由布市立石城小学校・幼稚園
大分中部流域林業活性化センター	プランターカバー	大分駅周辺
大分県森林組合連合会	野外用木製ベンチ	ななせ川公園、鶴崎スポーツパーク
安心院グリーンツーリズム研究会	農泊案内看板	宇佐市安心院町、院内町
佐伯広域森林組合	テーブルセット、椅子、縁台	佐伯道の駅ほか(計6箇所)

- ・ 多くの県民が利用する公共施設等に木製品を設置した。

設置場所	木製品内容
大分空港ターミナル	テーブル2台、ゴミ箱カバー2基、ベンチ14台、プランターカバー15個
JR大分駅	改札口テーブル1台、チケット売り場テーブル2台、荷物置台4台

(2) 木のぬくもりを感じる学校机・椅子設置事業

- ・ 小学校に県産のスギを使った学校机、椅子の導入を支援した。
(日田市内27小学校、1607セットを設置した。)



JR大分駅への設置状況



学校への設置状況

- 2 県産木材利活用促進事業の実施状況

- ・ 杉などの県産木資材を、県の土木工事に活用し、広く県民に効果を周知することにより、国や市町村の工事や民間への需要拡大を図る。
平成18年度は、日田市上津江町の道の駅「かみつえ」周辺において、木製ガードレールの設置を行った。



木製ガードレール設置状況

- 3 いきいき林業者活動支援事業

地域で頑張っている林業者の支援や山村に残る優れた伝統技術の伝承を行いました。

(1) 林業機械リース料支援

12の林業者等に対し、間伐等森林整備に必要な機械のリース料の助成を行った。

(2) 伝統技術等習得支援

技術習得研修

林業者が林業技術を習得するために必要な研修を実施した。

- ・ 伐木造材技術
- ・ 炭焼き技術

伝統技術講習会の開催

森の名人等を講師に技術講習会を2回開催し、その伝承を図った。



林業機械貸付支援



伝統技術等習得支援（伐木造材講習会）

- 4 おおいた型放牧育林モデル事業

放牧による下草刈りの省力化等を図る実証試験地を設置しました。

- ・ 放牧により林地の下草刈りの省力化、シカ等の植栽木食害被害の軽減、林地を活用した放牧による飼料代等の節減を目的に、スギ新植地に雄牛を放牧した。

放牧期間：平成18年8月～10月

場所：中津市本耶馬溪町

試験期間：3ヶ年



放牧の様子



放牧の様子

- 5 木材新用途研究開発事業

木材や竹材等の新たな用途開発を進めるため研究活動の支援を行いました。

(1) 丸竹材通直整形システム開発事業 (H18-19)

- ・作業の軽減と低コスト化により、竹材の需要拡大や荒廃竹林の解消を図るため、丸竹材の簡易整形システムの開発を行っている。

丸竹材の形状計測装置の開発
通直整形実験装置の開発

(2) スギ積層パネルを利用した耐震補強技術の開発

- ・木造住宅の耐震補強に用いるため、スギ積層パネルを利用し、施工性(低コスト、工期短縮)と耐震性能をあわせもつ補強ユニットの開発を行った。

施工試験、耐力試験の実施
耐震補強ユニットの完成(3種類)



(1) 丸竹材通直整形実験装置



(2) 耐震実験の様子